

中止及び延期の判断基準

◆雨の場合

■警報発令

神戸海洋気象台発表で芦屋市もしくは西宮市に暴風警報もしくは大雨警報が発令された場合は中止または延期の判断をする。

当日、午前9時の時点（開始5時間前）

担当委員長が雨天及び警報を確認した時点で専務理事に報告し、理事長が判断する。

◆緊急事態宣言又はまん延防止重点措置の場合

■緊急事態宣言

5月28日（日）に、兵庫県を対象とする緊急事態宣言が発令された場合又は発令されている場合は、中止及び延期の判断をする。

判断権者は、担当委員長から専務理事へ具申

■まん延防止等重点措置

5月28日（日）に、芦屋市もしくは西宮市を対象とするまん延防止重点措置が発令された場合又は発令される場合は、中止及び延期の判断をする。

判断権者は、担当委員長から専務理事へ具申し、臨時役員会議を行い、判断を行う。但し、これは他のLOMの判断に影響を与えないことを念頭に置く。